

議会だより



山の駅 令和8年元旦 御来光

177号

令和8年2月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 12月定例会、第2回臨時会で決まったこと …… 2～3ページ
- 総務常任委員会 …… 4ページ
- まちづくり常任委員会 …… 5ページ
- 一般質問（8名）、政務活動費報告 …… 6～13ページ
- 常任委員会合同視察研修、感謝状贈呈、編集後記 …… 14ページ

可決 緊急経済対策等

令和7年第4回定例議会が12月2日から18日まで開かれ、**条例**3件、**補正予算**4件、**契約**3件、**同意**1件、**設置**1件、**選任**1件、**その他**3件の合計16件を審議しました。

《 条例 》

議案	概要	審議の結果
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	法律の改正に伴い、仕事と育児の両立支援制度等に係る措置を定めるもの。	全員一致で可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	法律の改正に伴い、仕事と育児のさらなる両立のため柔軟な働き方を選択できるように部分休業の見直しを行うとともに、小学校就学前までの児童を養育する育児休業の取得整備のための措置等を定めるもの。	全員一致で可決
職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	人事院勧告に係る法律の改正に伴い、これを準用し、条例を改めるもの。	全員一致で可決

《 補正予算 》

議案	概要	審議の結果
一般会計補正予算（第5号）	総額に1億円を追加し、74億7,300万円とする。物価高騰対応支援給付金の給付、水道基本料金減免の延長など。	全員一致で可決
一般会計補正予算（第6号）	総額に2,800万円を追加し、75億100万円とする。緊急経済対策の追加、物価高対応子育て応援手当（18歳以下2万円/人給付）、緊急銃猟の体制整備に係る経費など。	全員一致で可決
特別会計 公営企業会計	国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 上水道事業会計補正予算（第3号）	全員一致で可決

《 契約 》

議案	概要	審議の結果
ラジコン等草刈機（2-1期）購入に係る物品売買契約の締結について	ラジコン等草刈機 27台（一般競争入札） 相手方：ヤンマーアグリジャパン（株）奈義支店 契約金額：1,503万400円	全員一致で可決
ラジコン等草刈機（2-2期）購入に係る物品売買契約の締結について	ラジコン等草刈機 38台（指名競争入札） 相手方：ヤンマーアグリジャパン（株）奈義支店 契約金額：2,283万6,000円	全員一致で可決
奈義町総合運動公園照明設備改修工事請負変更契約の締結について	奈義町総合運動公園照明設備改修工事 相手方：森安建設（株） 元契約金額：7,727万5,000円 変更契約金額：8,142万2,000円 （差引増414万7,000円）	全員一致で可決

12月 定例議会

令和7年
12月2日～18日

補正予算を全員一致で 物価高騰対策並びに

《 同意 》

議案	概要	審議の結果
奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	教育委員会委員に 山田麻紀 氏（宮内／新任）を任命するもの。	全員一致で同意

《 その他 》

議案	概要	審議の結果
岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山市町村総合事務組合規約の変更について	「岡山県中部環境施設組合」が解散することに伴う脱退承認と、「備南競艇事業組合」の「備南ボートレース事業組合」への名称変更により、規約の変更を行うもの。	全員一致で可決
岡山市町村税整理組合規約の変更について	井原市の加入承認と、組合の共同処理事務に森林環境税に係る徴収金に関する事務を加えるため、規約の変更を行うもの。	全員一致で可決

《 設置、選任 》

議案	概要
議会・議員活動のあり方調査特別委員会の設置について	議会活動・議員活動のあり方、議員のなり手不足に対する取組、議員報酬のあり方について、調査・研究を行うため、特別委員会を設置。
議会・議員活動のあり方調査特別委員会委員の選任について	委員長：森藤政憲 副委員長：中井泰洋 委員：上原伸介、芦田 元、定森久芳

その他、所管事務等の調査について全員一致で可決した。

第2回 臨時議会（令和7年11月7日）

《 契約 》

議案	概要	審議の結果
防災行政無線用タブレット導入等業務に係る物品売買契約の締結について	防災行政無線用タブレット導入等業務 相手方：（株）チェンジホールディングス 契約金額：1億3,431万円（2,200台）	賛成7、反対2 で可決

委員会報告

総務常任委員会

総務常任委員会は、総務課、税務住民課、こども・長寿課、出納室、学事課、生涯学習課、学芸図書課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：森藤政憲 ■副委員長：野々上美智明 ■委員：岡 立・小阪四郎・芦田 元

【総務課】

歌舞伎専門職員の採用について

Q 歌舞伎専門職員の採用はどうなっているのか。

A 募集をしているがなかなか難しい。

【総務課】

緊急経済対策について

Q 緊急経済対策は、国の政策の先取りか。

A 現段階では奈義町の独自事業である。

高円町営住宅は、退去された所から取り壊しを行っています。



【総務課】

過疎地域計画について

Q 過疎地域計画は、どんな課題があるのか。

A 現在は5年間の実績を整理中である。

【税務住民課】

高円町営住宅跡地の今後は

Q 高円町営住宅跡地は今後、どうするのか。

A 地権者は久常地区であり、地元と協議する必要がある。

【税務住民課】

共同墓について

Q 共同墓の納骨は、具体的にどのような方法で行うのか。

A 墓石の上面から納骨するようになる。

まちづくり常任委員会

まちづくり常任委員会は、情報企画課、未来創造課、産業振興課、地域整備課が所管する事業について審査を行います。

■委員長：中井泰洋 ■副委員長：須一玲子 ■委員：上原伸介・岡部英生・定森久芳

【未来創造課】

ふるさと納税返礼品の米について

- Q** 米を高い単価で購入したと思うが売り切れなかった場合は、どうするのか。
- A** 万が一売り切れなかった場合、パッケージ化をして販売する等考えている。

【産業振興課】

有機センターについて

- Q** 老朽化にともない中長期的な改修計画をすべきでは。
- A** 現場から声が届いていないので、しっかり確認する。



様々なイベントが開催されている那岐山麓山の駅。

【産業振興課】

山の駅について

- Q** 利用者の傾向は町内、町外の方、どちらが多いか。
- A** 聞き取りでは町外の方が多い。国際カフェ、国際料理教室、こども縁日等は町内の方に非常に好評だった。

【地域整備課】

アートの森構想について

- Q** 構想の中で住宅建設を優先して考えてはどうか。
- A** 整備の順序は今後検討していく。

Q 緊急銃猟の準備状況は



野々上美智明 議員

A 対応マニュアルの作成が完了し 猟友会(奈義分会)の理解も得ている

質問 緊急銃猟を実際に行うためのマニュアル作成上の問題点や現在の進捗状況及び、猟友会との事前調整について伺う。

答弁 町長 先般、奈義町の緊急銃猟マニュアルを作成した。

緊急銃猟実施時の人員配置や役割分担について、現場の状況や時間帯によって異なるため苦慮した。

今後は、実施訓練や各種関係機関と調整を行う中で必要に応じて適宜修正をする。

緊急銃猟の依頼について、猟友会奈義分会の皆さんにお願いして理解いただき、会による推薦があった方々をお願いし、実施訓練等を計画する。

質問 秋田県では、熊対策で自衛隊への応援要請を行い、既に出勤して後方支援を行っているが、岡山県の検討状況を伺う。

答弁 町長 災害対応は、自衛隊の仕事に入っているのですが、すぐに出勤できるが、熊の場合には、その業務の中に入っていない。



道路脇に居るツキノワグマの親子
(インターネット無料画像より)

いので、その都度検討がなされるとのことである。今年度は、岡山県では熊の出没数は例年と比較して少なく、すぐに自衛隊に後方支援を要請する状況にもない。

あわせて、警察官についても、必要に応じ検討されるとの事である。警察官そして自衛隊への出勤をお願いする場合は、県にお願いする必要があると考えている。

Q

フィリピンでの地震や台風被害の英語教育への影響は

A 特に大きな被害(影響)はなかった

質問

フィリピン国セブ島一帯では、9月と10月に大きな地震に、11月には連続で台風に見舞われ、大きな被害が出ているようであるが、奈義町で勤務しているALT等のご家族の被災状況や、英語教育への影響について伺う。

答弁 教育長

ALT個々に家族の被災状況を確認している。家族に人的な被害はなかったが、親戚までを含めると洪水による浸水被害等が幾つかあった。英語の授業への影響は、セブのまちで通信環境等の問題が起こり、リモートの授業2コマだけ日を変えて行ったが、特に大きな被害はなかった。



定森 久芳 議員

Q 時間外労働で過労死の対象となる基準を超える人はいないか

A 9月以降、月100時間以上の人はいない。2～6カ月の平均が80時間を超える職員が1人いる

質問 衛生委員会の中で出た意見や対策を教えてください。

答弁 副町長 毎月、職員の健康管理や勤務時間の状況、休職者の状況など、職場環境の改善について協議をしている。事業主健康診断の前倒し、人間ドックの早期受診を促している。また、ノー残業デー、月、水、金20時退庁、火、木を18時退庁の徹底などを行っている。

質問 ノー残業デー、リモートワークを禁止したときに、仕事を遅らせないような提案はされているのか。

答弁 副町長 リモートワークについては時間の把握等検討中で、一旦、停止の措置をしている。今、課の中で仕事のやり方を入れ方、一部業務の委託、職員の配置等考えている。

質問 遡って職員に、サービス残業代を支払わないのか。

答弁 町長 職員と話をし、

町民の皆さんも納得できる対応

をしていきたいと考えている。

サービス残業は過去3年の請求権があるので、どのように支払うか職員と協議している。

Q 令和8年4月の道路交

通法改正による自転車の交通違反に対する反則金制度について

A 毎年4月に、学校・

園で交通安全教室をしている。また、広報活動やチラシで周知啓発する

質問 通学路に自転車通行可の

標識を設置できないか。

答弁 町長 国道はつい先般、

歩道のフラット化が

されて、車歩道として自転車通行可の標識が設置されている。

今後歩道の整備をし、

車歩道にできるようにしたい。



国道に設置された普通自転車歩道通行可の標識

Q 地域医療の持続可能性について、奈義ファミリークリニックに

継続的支援は

A 予算として六百万円の補助金を計上している

質問 奈義ファミリークリニックに県南部の病院から、定期的

に患者の相談に乗ってもらえるような先生に来てもらうことはできないか。

答弁 町長 今、松下先生が

おられて、家庭医として人気がある。若い先生も実習にいられており、充実した診療所運営がなされていると思う。

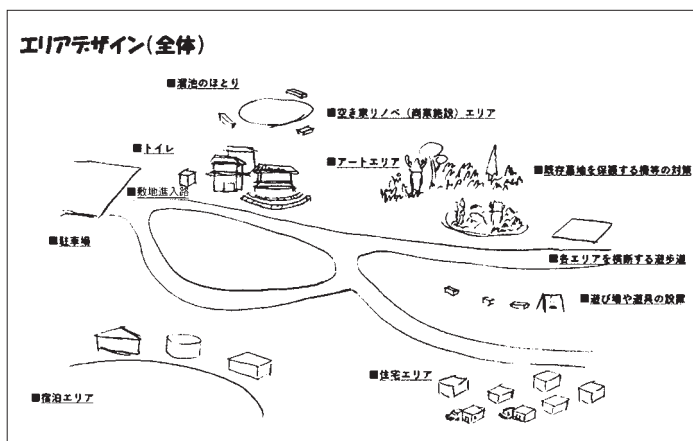
Q アートの森構想より、これからの福祉、インフラなど町民の未来を守るべき



芦田 元 議員

A 趣旨をしっかりと説明させてもらう

質問 アートの森構想自体を町民は知らない、理解できていない状況がある。将来にわたり、私たちの生活の安心と豊かさを確保することが不可欠だ。仮に10億円の税金を使うなら、アート構想よりも、30年先を見据えながら、福祉、インフラ等に投資することが町民を守ることになる。アートの森構想は、慎重な議論を町民とすべきではないか。



エリアデザイン (全体)

質問 農業の後継者確保は、厳しい情勢である。従来からある県の後継者または新規就農の助成とは別に、本町独自の育成支援の補助金を創設し、地区の協力も組み合わせ、担い手確保と育成を図るべきではないか伺う。

答弁 町長 一番の目的は、移住、定住促進により、人口維持をすること。公園(アートの森)に皆が集える、憩える場所を用意する。重要な政策であるので、しっかりと説明し、理解を頂くことが大切だと考える。

Q 農業の担い手育成と助成措置を

A 機械の補助金等を優先したい



農業用水路を安全で管理しやすい管路へ更新

質問 国が示す基盤整備の柔軟な方針を踏まえ、奈義町の基盤整備(畦畔拡張、水路更新、農道、フォアスなど)を町の方針として位置付ける考えはないか。

答弁 町長 地元が取り組むとなれば、町も考えたい。

Q 中山間地域における農地基盤整備の柔軟な推進を

A 地元が取り組むとなれば考えたい



須一 玲子 議員

Q 町民にとっての 交付税の使い方は

A 町民の暮らしを守りながら交付税の 効果的な活用に努めてまいりたい

質問

交付税の活用に対して、現状の成果と、これからの使い方についての考えをお聞きする。

答弁 町長

普通交付税については基礎的な行政サービスの維持に活用しており、特別交付税については災害復旧や地域の特殊事情に伴う財政需要に対して活用している。町民の皆さんの暮らしを守りながら、将来を見据えた財政運営を行うべく効果的な活用に努めてまいりたい。

Q

ナギテラス、山の駅の運営方法について

A

第三の居場所、町民交流、奈義町観光情報発信などの拠点として運営を続けていく

質問

ナギテラスの現状は、活用されていないように見える。今後この建物を生かす事をしてほしい。山の駅は赤字から人の集まる場所への改善を。

答弁 町長

ナギテラスは貸し

スペースなどの利用を含め、観光客だけでなく多くの方にご利用いただいている。来館者も増加傾向となっており、情報発信などの拠点としてさらに機能させ、にぎわいの拠点として運営を続けていきたい。

山の駅については、引き続き黒字経営を目指し、赤字経営脱却に向けて改善を図ってきたい。

Q

空き家対策の状況は進むように、引き続き施策を検討

A

空き家の活用が進むように、引き続き施策を検討

質問

所有者などとの連絡が取れない対策として、地区の対応などにも必要ではないか。

答弁 町長

空き家の管理は所有者の責任でお願いする。空き家の活用が進むように、引き続き施策を検討していく。



彫刻家 北川太郎 氏 作品「ナギまほろば」

Q

70周年を迎えた奈義町、これからの町政は奈義町が目指す姿は安心して最期まで住み続けられる町、持続的に発展する町

A

奈義町が目指す姿は安心して最期まで住み続けられる町、持続的に発展する町



上原 伸介 議員

Q 河川管理道に危険箇所の調査は

A 異常箇所を把握し対応している

質問

本町は中国山脈の山頂から麓にかけて位置していることから、町の北と南ではかなり高低差がある。その関係で、町内を流れる河川には、取水や洪水防止のための堰が多く設けられている。

また、河川とその脇を並走する（堤防上の）車道との距離が近く、法面勾配のきつい場所も多く存在する。

これらが直接関係しているかどうかは分からないが、堰付近の車道に亀裂が生じているところがあり、場所によっては沈下が疑われるような箇所すらある。町内のこういった危険箇所をきちんと把握しているか。

答弁 町長

河川管理道の点検については、県と連携をしながら河川周辺の道路の安全保持確保に向け、定期的な点検を行い異常箇所の把握に努めている。

答弁 地域整備課長

該当する河川管理道は、町道、林道、農道、橋梁パトロールと併せて準

用河川の点検を定期的に実施し、現場の状況把握に努めている。

点検の結果、陥没や段差、ひび割れなどの異常が確認された場合は課内で共有し、修繕が必要なものは速やかに対応している。

なお、危険箇所等を見かけた場合は、まずは地域整備課へ連絡願いたい。

Q 山の駅について、今後の方針は

A 今後も赤字脱却を目指し、皆が集える場所にした

質問

今年度から体制を新たにリニューアルオープンした那岐山麓山の駅だが、現状の収支報告をみると年度内での赤字脱却は厳しい状況にある。

赤字が続く主な原因は、どういったものと分析しているのか。

また、これまでの結果を踏まえ、今後はどのような対策を講

じていくのか。

答弁 町長

赤字の主な原因は、レストラン及び売店の売上不足だと捉えている。また、人件費、物価高騰に伴う原材料費や光熱費等の高騰も影響している。

赤字脱却に向けては、経営の専門家からアドバイスを受けたリ、地域活性化起業人制度を活用するなど、助けていただくことを考えている。

同時に、SNSやグルメサイト等の活用、ホームページのリニューアルやメディアへの情報提供によりPR強化を図る必要もある。

また、国際交流イベントやマルシェの開催等、集客につながるイベントを継続的に実施することも大切だと考えている。



小阪 四郎 議員

Q 高円住宅の一部解体工事が始まっているが跡地の利活用は

A 将来的には久常地区に返還も視野に

質問 高円住宅の今後について伺う。

答弁 町長 高円住宅は、一部解体工事を行っている。

久常地区より借り受けた土地であり、将来的には久常地区への返還も視野に入れ、地元との十分な協議を重ねていく。



若者住宅

質問 高円住宅に現在入居されている方は今後どのように対応するのか。

答弁 町長 高円住宅平屋にお住まいの方には、入居状況等の

確認を行いながら、同意をいただいた方から順次、2階建ての住宅へ転居手続きをお願いしたいと考えている。移転が完了し、一棟全てが空家になった棟から順次解体を進めていく。

質問 高円住宅や荒内東住宅は、所得に応じて家賃が変動する公営住宅であるが、そのような住宅は今後廃止する考えなのか。新しく建て替えて住民を増していくのか。

答弁 町長 高円住宅、荒内東



荒内東住宅

住宅については、入居者がおられる間は住宅の利用が継続をされているため廃止は行わない。建て替えを行い運営することは考えていない。

質問 町営賃貸住宅を新しく建てることと、空き家を改修して貸し出すこと、将来的にはどちらに力を入れるのか。

答弁 町長 空き家も活用しながら賃貸住宅、民間の賃貸住宅の支援も行い、両方していく必要があると考える。



解体中の高円住宅



森藤 政憲 議員

Q 全町民への給付は、希望の人には現金を

A 地域の経済にもお金を有効に使いたいので、ナギフトカードで

質問 物価高騰対策として全町民に5千円を給付する事業は、希望する人には現金での給付を検討してはどうか。

答弁 町長 個人の支援とあわせて地域の経済にもお金を有効に使いたいのでナギフトカードでの給付に理解いただきたい。

Q 2・95という合計特殊出生率を使うのはどうか

A どこかの時点では広報の仕方は変えていく必要がある

質問 合計特殊出生率の2・95は、6年前の数値だ。今も高い水準だと誤解をされないか。

答弁 町長 どこかの時点で、町の広報の仕方は変えていく必要があるかと考えているが、町の方針は子育て支援、魅力ある教育で高齢者を支えるまちづくりである。

Q 山の駅のレストランは赤字。町長は責任を持つと言われたがもう少し時間をいただき、赤字化の解消につなげていきたい

質問 レストランの現状は赤字である。町長はうまくいかなかったら責任を持つと言われた。きちんと対応しないとイケないと思うがどうか。

答弁 町長 レストラン、売店の売上が減っている。もう少し時間をいただいて赤字化の解消につなげたい。

Q 自分の都合や肌感覚での行政運営は問題ではないか。配慮しながら進めていきたい

質問 6月23日の農業問題意見交換会で参加者から、外国人の雇用について賛成意見は少なかつ

たのに、前向きな意見であったとまとめ、アートの森構想では、若い人たちに高い支持があると根拠のないことを広報で掲載した。自分の都合や感覚で取り組むことは問題だ。

答弁 町長 言葉の使い方や、よく場の状況を配慮しながら進めていきたい。

Q 残業手当は3年遡って出すのか

A 職員と話し合って進めていきたい

質問 残業手当がきちんと出ていない。3年遡って出すのが当然だと思うがどうか。

答弁 町長 3年まで遡れる。その辺の取り組みをしっかりと確認し、職員と話し合いながら進めたい。



中井 泰洋 議員

Q 山の駅の本来的な目的は

A 町民と都市住民が交流を図り、地域産業の振興と地域住民の活性化に資するため

質問 那岐山麓山の駅が存在する目的は。

答弁 町長 町民と都市住民が交流を図り、地域産業の振興と地域住民の活性化に資するためである。具体的には、観光の拠点、都市交流施設、そして奈義町の優れた農畜産物の食材提供施設、情報発信施設、さらに地域住民が活性化するための施設の役割がある。今年度からは、国際交流拠点の役割も担っている。

山の駅は、奈義町のそうした役割を担う重要な拠点施設であり、奈義町の良さ、食材の良さを体感できる場所、奈義町の広告塔として存在するものと考えている。

質問

地域住民、地域産業との

Q 地域住民、地域産業との関わり方は
A 協力関係・信頼関係の強化を図る

関わり方はどうか。

答弁 町長 奈義町民の皆さん、地域産業を支える町内の企業に関わる皆さんの協力は、山の駅を盛り上げ賑わいに繋げるために必要だ。

今後においても、町民、町内業者の皆さんと協力関係、信頼関係の強化を図り、山の駅を盛り上げていきたいと考えている。

Q 情報発信を強化すべくでは
A アイデアを創出し鋭意努力したい

質問 情報発信に力を入れるべきでは。

答弁 町長 情報発信は、経営改善を図る上でも非常に重要であると認識している。話題性のあるイベント等を企画し、メディアにも取り上げてもらえるようアイデアを創出し、鋭意努力していきたい。

令和7年度前期分政務活動費報告書 (令和7年4月～9月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円				支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	資料購入費	広報費	合計		
定森久芳	32,692		7,800	40,492	40,492	先進地視察、「定森ひさよし新聞」発行
芦田元	21,230		57,858	79,088	60,000	先進地視察、「芦田はじめだより」発行
小阪四郎		58,402		58,402	58,402	「地方議会人」他購読料
森藤政憲	11,800		15,400	27,200	27,200	先進地視察、「森藤まさのり議会だより」発行
計	65,722	58,402	81,058	205,182	186,094	

※その他の議員は、今回支出していません。

常任委員会合同視察研修（11月17日～18日）

J A丹波篠山の黒大豆栽培は、「丹波篠山黒大豆」として日本農業遺産に登録されています。この伝統と技術を受け継ぎ、組織的な栽培管理と品質向上に取り組むことで、特産品としての高い評価を維持しており、その先進的な取り組みを視察しました。

京都市における空き家対策の取り組みを視察しまし



丹波篠山 黒大豆の圃場

た。地域課題の空き家対策に対応するため、行政と市民が連携し、地域のイベントで、市民が空き家所有者となり、家を売るまでをカードゲームで体験できる仕組みを学びました。特に、まちの不動産屋が相談員となり、無料で空き家の相談ができることが印象的でした。



京都市役所

奈良県明日香村では、人口減少・高齢化が進む地域公共交通の維持・確保の対策として、レベル4相当の高度な自動運転技術を活用した地域内移動サービスの実証実験を積極的に進めています。その具体的な運用方法や課題、地域住民の受容性などを学びました。令和8年の世界文化遺産登録に向けて、頑張っていました。

感謝状贈呈



奈義町議会議長として、岡山県町村議会議長会に対する功績により、岡部英生議員（前議長）に、岡山県町村議会議長会より感謝状が贈呈されました。

編集後記

一年で最も寒い時期を迎えておりますが、議会では熱い議論が行われています。議会だよりで、町民の皆様には、各種活動を報告しようとしておりますが、紙面にも限りがある関係上、この熱い議論をお伝えするにも限界があります。

是非、お時間に余裕がある際は、議場まで足を運んでいただき、生での熱い議論をご確認いただけますようお願い申し上げます。

（野々上 美智明）

【編集委員】

委員長	中井 泰洋
副委員長	荻田 元
委員	小阪 四郎
	定森 久芳
	野々上美智明
議長	岡 立

表紙の写真

令和8年元旦、初日の出（山の駅レストラン前）